

欲しい情報を こまやかに、ざっくりと。

マイニング探検会「俺CiNii」チーム+有限会社スタジオ・ポットSD



sd.pot.co.jp/orecinii/

検索エンジン、という便利な発明なしにはもはや「情報を探す」ということは成立しない昨今ですが、「欲しい情報を的確に得られるかどうか」は、「的確な検索語を思いつけるかどうか」に依存してしまう、という問題を抱えています。

この、いわば堂々めぐりな状況に対する一つの解として、SVM (Support Vector Machine) が使えるのではないかとという仮説を立てたのが我々チームの取り組みの発端でした。

SVM はすでにさまざまな分野で使われている、いわば「枯れた」手法ですが、日常の情報探しのツールとしてもっと気軽に利用できるようにパッケージ化したものが「Kajiki」です。

さらに、これを組み込んだ Web アプリケーションとして、CiNii の膨大な論文を自分好みに仕分けする「俺 CiNii」を作成しました。

この育成型情報分類ツールが、みなさまの情報ライフを豊かにするための、ちょっとしたヒントになれば幸いです。

SVMをもっと気軽に



SVM(の実装のひとつである SVM Light) を利用する際の、面倒なデータ加工の過程を劇的に省略できる Perl ラッパー+シェルスクリプト。CPAN モジュール「Algorithm::SVMLight」経由で呼び出して使います(下記「俺 CiNii」サイトにて公開中)。

自分好みの論文探しをスパッと支援

俺CiNii

CiNii の膨大な論文から、Kajiki を用いて適合率を返してくれる、育成型フィルタを体験できる Web アプリケーションです。

